

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493700213	事業の開始年月日	平成24年8月1日	
		指定年月日	平成24年8月1日	
法人名	株式会社 ハートフルケア			
事業所名	グループホーム プラチナホーム鴨志田			
所在地	(〒 227-0033) 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町256番地			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成26年1月5日	評価結果 市町村受理日	平成26年5月7日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・周囲に畑が多く、季節を感じられる場所です。畑ではイチゴやジャガイモの収穫を行っています。近くに寺家ふるさと村があり、散歩コースにもなっています。 ・地域の方との協力体制を作る為、ホームに気軽に遊びに来られる環境作りや地域貢献できるよう小・中学校の職業体験等の受け入れを積極的に受け入れています。 ・ご利用者様に楽しんで生活して頂く為にボランティアも多く受け入れ活気のあるホーム作りを目指しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成26年1月24日	評価機関 評価決定日	平成26年4月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 当事業所は木造2階建てで、1、2階が概ね同じ仕様の2ユニット構成になっている。東西に伸びた建物の周囲は広大な農地であり、果樹園や野菜畑が展開している。居室やベランダからの眺望が良く、屋内への採光も優れている。南側の芝生を敷き詰めた庭にはプランターを置き、利用者が草花の栽培を楽しめる設備がある。北側の玄関への通路や館内の床は全てバリアフリー構造になっており、歩行や車椅子での通行が容易で安全である。事業所へは東急田園都市線・青葉台駅、または小田急線・柿生駅からバスで約15分、常盤橋バス停および鉄町バス停から徒歩5～10分で行くことができる。</p> <p>【環境の整備と家庭的雰囲気創造】 広い敷地内に芝生の庭や菜園を整備し、散歩や災害時の一時避難場所としても活用できる工夫と、生活空間に家庭的な雰囲気を作り出そうとする思いを、いろいろなアイデアで実践している。建物の周囲に柑橘樹を植えたり、障害者支援施設の利用者が近くの畑で行う収穫祭に招いてもらい、事業所の入居者を参加させて共に収穫を楽しんだりして、日常の暮らしの中に「うるおいと和みを持ってもらえる生活」の保持に努力している。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム プラチナホーム鴨志田
ユニット名	1Fユニット

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にそった年間目標を毎年立てている。	法人の全グループホーム共通の理念があり、「入居者が家庭的な雰囲気の中で自立した生活ができる支援と豊かで暮らしやすい地域社会の創造を目指す」としている。事務室に掲示され、職員は毎週の申し送りで共有し日常での業務に反映させている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や商店を利用したり、催し物に参加するなどの活動を通して日常的に近隣の方々との交流を行なっている。	鴨志田町自治会に加入し、地域でのお花見、マラソン大会見物、夏祭りや盆踊りに参加し交流がある。地主のオーナーが畑で芋掘りなどをさせてくれる。幼稚園児が遊びに来たり、ボランティアの歌や踊り、生け花や茶の湯、和太鼓の披露などがある。別法人のグループホームと交換研修を実施している。今後は中学生の体験学習の要望を受け入れ、福祉科大学生との交流を進めて、地域との連携を密にする意向の実現を目指して努力している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事などに参加し、人々と接することで、理解を得よう努めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や地域住民より、率直な意見を聞ける場となっている。意見をホームに持ち帰り、改善や地域の情報を得る機会となっている。	会議は同法人の青葉台グループホームと合同で3カ月毎に開催している。民生委員、地域包括支援センター職員、地主オーナー、利用者・家族が参加している。自治会長にも参加を要請している。事業所の活動状況、職員人事、事故事例、今後の予定等を報告し、運営に関して要望や提言を出してもらい検討している。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市健康福祉局からのメールで情報を得ている。区役所では、地域の情報を得ている。	市の健康福祉局が担当窓口であり、相互で連絡を交わしている。地域ケアプラザでの研修の講師に招かれ、グループホームについての説明をしている。市が開催する研修等に職員が交代で参加し、内容を持ちかえって共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束を行わない事を理解している。事業所前の道路は車の往来が有り危険なため、そのときに応じて施錠している。	契約書の第6条3項に身体拘束をしない介護の実践について記載し説明している。職員は法人の提唱する「拘束ゼロの方針」で研修を受け、周知もされている。玄関及びユニット入口は施錠していない。利用者の不意の外出には、常に見守りを確実に行うことで対処している。夜間時の防犯対策として、玄関ドアが外からは開かない装置を施している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の手引きを休憩室に置き、いつでも閲覧できるようになっている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修に参加し、理解に努めている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分に説明を行い、ご理解いただいた上で契約書を交わしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議などを通して外部の方の意見を職員に報告している。	年間に多種の行事を頻繁に実施するので家族と接触する機会も多く、その度に意見や要望を聞き、話し合うことができる。アンケート方式で要望を聞くこともある。職員の挨拶の仕方や態度についての意見に対し、改善を話し合った事例や歯科診療の不满では利用者ごとに異なる歯科医を紹介して往診を依頼したり、庭の除草を要望され職員が草取りをしたり、いくつかの実例が記録されていた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や意向を聞けるよう何かないか、常時話かけ対応している。	管理者は職員の意見を聞き、事業所運営に役立てることを基本方針とし実践している。職員も会議で発言するほか、日常勤務の中で自由に意見や要望を述べられる環境で業務に就いている。介護度が上がってきた利用者のベッドを介護用ベッドに替えるよう提案し、即座に実施された事例、インフルエンザの予防には加湿器が有効との意見が採用され購入した事例があった。申し送りノートや利用者個別ノートに記して共有している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回のレポート提出や勤務実績など半年間の振り返りを行い、向上、努力したものを評価している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	提携施設での研修や外部研修に参加するように努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ブロック会に参加し、情報交換やサービスの質の向上に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や面接時、気軽に話しができる雰囲気作りに努め、困っている事、望んでいる事を話せる環境作りが出来るように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談で来訪された際、または電話にて随時ご家族様の悩み等を受け止める努力をしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接にて聞き取り後、職員と協議し、必要な支援が受けられるように提携機関、協力機関と話し合いをしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	裁縫、畑仕事、花壇の手入れなど、個々に合わせたケアを取り入れる努力をしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との生活歴をすることにより、本人とご家族様がこれからもより良い関係作りができるように支援しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に安心して生活ができるようになじみの物を持参して頂いている。入居後に、知人等が面会に来られることもある。	昔の友人に会いたいとの希望を家族に伝え対応してもらったり、美容院に行きたい時は予定日に職員を配置したりして、長時間の対応も支援している。家族や知人の来訪は歓迎され、居室や居間で歓談している。利用者の買い物同行の支援もしている。今後も利用者ごとの希望に合わせた企画等を計画している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や相性などを考慮し、役割活動などで友達作りの支援をしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話にて相談、支援を行なっている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴や態度から汲み取り、ケアプランに取り入れている。	居室担当職員が担当する利用者から聞き出した意向や観察での様子を個人ノートや申し送りノートに記して全員が共有し、出来ることは即座に対処している。利用者の思いを家族に連絡したり、居室や備品の管理を任されたり、本人本位に行動している。言葉にし難い思いなども表情や仕草から汲み取って対応することになっている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴の情報を得て、プライバシーに配慮し職員間で共有している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察し、記録に残している。往診医師や訪問看護師による多方面からの心身の把握を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、ご家族の希望を聞き、毎日の記録やケアチェック表から支援すべき課題を明確にしている。</p>	<p>利用者2名に職員1名が居室担当となり、個々人の状況を個人ノートや申し送りノートに記録している。モニタリングや評価の内容を管理者と計画作成担当者がカンファレンスで話し合い、通常は3カ月毎に行う介護計画の見直しにつなげている。急激な状態の変化には家族の意見や、必要ならば医師からのアドバイスを入れて即座に的確な見直しを行っている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録や職員間での情報交換などをもとに、カンファレンスを行い介護記録を作成している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて医師、看護師、薬剤師、福祉用具店などの協力を得ている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>幼稚園児が遊びにくる、また、外食に行くなど、施設内だけの生活だけではなく、外部との関わりを持つ事で精神的な安定を図っています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診の際には、ご家族様に電話等して確認後、受診している。</p>	<p>入居以前からのかかりつけ医の受診を希望する方は家族が対応している。聞きとった診療記録は、記録して事業所の個人ファイルに添付し共有している。協力医からの受診は隔週の往診で受けられる。歯科の往診は必要ならば毎週受けられる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護師へ心身の状態を報告し、情報の共有化を行い、健康管理を行なっている。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先へは、介護サマリー等の情報をお渡しして、本人が安心して治療できるように支援し、ご家族様と退院後の受け入れについて話し合いをしている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	協力医療機関より、医師、看護師や訪問看護師、ご家族様との話し合いを重ね、今後の方針を共有する体制がある。	現在まで事業所での実施事例はなかった。重度化した場合の介護について事前に家族との話し合いは持たれているが、原則としては医療が必要な状態になったら入院してもらうことにしている。	現在、重度化や看取りに対応する方針や体制はないが、職員に重度化や看取り介護の実態について理解してもらうための研修、あるいは勉強会を企画し実施されるよう期待します。
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年2回の避難訓練を行い、避難経路の確認などをおこなっている。	防災訓練は事業所独自で計画し、夜間時想定や消火訓練を含む避難訓練を実施している。消防署に訓練計画を提示し、実施報告書を提出している。実施結果に対する反省会も行っている。地域全体で実施する「緑小学校地域防災訓練資料」による訓練に管理者が参加し、地域との連携を体験している。災害時用の備蓄品はユニットごとに、約3日分の飲料水・食品、その他の必需品を館内の倉庫に所持している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はプライドを尊重した言葉かけを行い、個人記録には氏名を明記などをしないように職員全員に話しをしている。	職員は排泄や入浴介助の際は気遣いと思いやりの心を持って対応している。利用者のプライバシー保護の要点を話し合い共有し、利用者の前でその方の介護や個人的な情報を話さない、などの配慮を心がけている。個人情報のある書類等は事務室内の施錠されたキャビネットで保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時間をかけての傾聴や毎日の生活から、本人の意思や希望を汲み取る努力をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課はあるが、本人のペースに合わせた暮らしを支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院など出来るだけ本人の希望にそって外部にて実施している。また、出来るだけ入浴の際には時間をかけ、御利用者様と一緒に洋服を選ぶ等している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りや、祭りなど、本人が楽しんで食事が出来、また、積極的に片付けなどを作って頂けるように支援している。	法人の介護老人保健施設で管理栄養士による献立で調理した副食が毎食分とどけられる。ご飯と汁物は各事業所で調理している。数名の利用者が食卓の準備や配膳を手伝っている。職員は介助が必要な方の隣に同席し、同じものを食べながら会話をして見守っている。食前に口腔体操を行って安全な食事ができる工夫をしている。時々利用者の希望を入れた行事食を自前で調理したり、ハンバーガーや寿司、和食御膳、うな井などの外食で楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じた食事、水分量を準備し、摂取量を記録しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行なっている。磨き残しなどがある場合は職員が手伝っている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表などを活用し、個々の排泄パターンを把握し、出来るだけ本人に失敗が無く、トイレにて排泄が出来るように支援しています。	日中に自立排泄が可能な方は1階では5名、2階では2名である。各人の排泄パターンを把握しており、傾合いをみて、さりげない声かけをしてトイレ誘導を行い失敗のない排泄を心がけている。時には動作や仕草から排泄の気配を察知することがあり、見守りでも注意している。夜間はパッドやりハビリパンツを使用する方が多いが、無理に起こしたりはしない。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況をチェック表で確認し、水分補給、薬の服用、腹部マッサージなどをし、出来るだけ自力排便が出来るように支援しています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望やタイミングに合わせて入浴している。	浴室は広く床暖房である。浴槽は3方から介助できるように配置している。脱衣場は暖房器具で温めている。入浴回数を基本的には寒冷期は週2回、暖候期は週3回としている。希望があれば回数や入浴時間に拘わらず対応する。入浴を好まない方にも楽しんでもらえる工夫、例えば菖蒲湯や入浴剤の使用などを行っている。同性介助は状況を判断して行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	介護記録にて個々の睡眠状況 を把握し、安眠、休息への支援 をしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる	処方箋は職員がいつでも確認 できるようになっている。薬の 管理、服薬の支援を行い、体 調管理に努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている	個々に合わせた役割活動を行 なっている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支援 している	ご本人、ご家族様の希望に 合わせた外出を行なっている。	好天時は近隣で散歩している。 車椅子の方も出かけている。 なお、利用者の買い物に職員 が付き合っていることを訪問 した当日に実見した。行事 での外出には家族の協力を得 ている。リビング南側のウッド デッキや周囲の庭で日光浴や 外気浴ができる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している	自己管理が難しい方へは支 払いの際にお金を渡し、支払 ってもらうなど個々に合わせた 支援を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の了解を得て、友人等との電話やコミュニケーションを取っている。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下、リビングには絵画や協力して作成した壁飾りを展示している。	リビングが広くて窓も大きく、室内が明るい。調理台は北側の壁際にあるが壁面が鏡になっており、調理しながらでも後ろに居る人たちを見守ることができる。両階ともリビングからベランダに出られる。感染症予防対策に消毒や湿度調整に細かな配慮がされていた。清掃は利用者主体で行い、職員が手伝っている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファがあり、好きな時間にゆったり過ごす事ができる。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人の使い慣れたものを持参していただけるように、ご家族様にお話している。	居室に空調・照明・収納・防災カーテンが設備されている。ベッドなどの寝具は個々の希望で対応し、敷布団を利用する方もいた。入居の際の持ち込みは自由だが、危険と判断した物には注意している。床や壁にスポンジや発泡スチロールボードを置いた部屋もあった。ドアに名札・顔写真を付けてあった。清掃は職員に手伝ってもらいながら、自主的に行っている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の基本動作を把握し、補助具の使用などで自立した生活を支援している。			

事業所名	グループホーム プラチナホーム鴨志田
ユニット名	2Fユニット

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にそった年間目標を毎年立てている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や商店を利用したり、催し物に参加するなどの活動を通して日常的に近隣の方々との交流を行なっている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事などに参加し、人々と接することで、理解を得るよう努めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や地域住民より、率直な意見を聞ける場となっている。意見をホームに持ち帰り、改善や地域の情報を得る機会となっている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市健康福祉局からのメールで情報を得ている。区役所では、地域の情報を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束を行わない事を理解している。事業所前の道路は車の往来が有り危険なため、そのときに応じて施錠している。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の手引きを休憩室に置き、いつでも閲覧できるようになっている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部の研修に参加し、理解に努めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は十分に説明を行い、ご理解いただいた上で契約書を交わしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議などを通して外部の方の意見を職員に報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や意向を聞けるよう何かないか、常時話かけ対応している		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回のレポート提出や勤務実績など半年間の振り返りを行い、向上、努力したものを評価している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	提携施設での研修や外部研修に参加するように努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ブロック会に参加し、情報交換やサービスの質の向上に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や面接時、気軽に話しかける雰囲気作りに努め、困っている事、望んでいる事を話せる環境作りが出来るように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談で来訪された際、または電話にて随時ご家族様の悩み等を受け止める努力をしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接にて聞き取り後、職員と協議し、必要な支援が受けられるように提携機関、協力機関と話し合いをしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	裁縫、畑仕事、花壇の手入れなど、個々に合わせたケアを取り入れる努力をしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との生活歴をすることにより、本人とご家族様がこれからもより良い関係作りができるように支援しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入居時に安心して生活ができるようになじみの物を持参して頂いている。入居後に、知人等が面会に来られることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や相性などを考慮し、役割活動などで友達作りの支援をしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話にて相談、支援を行なっている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴や態度から汲み取り、ケアプランに取り入れている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴の情報を得て、プライバシーに配慮し職員間で共有している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察し、記録に残している。往診医師や訪問看護師による多方面からの心身の把握を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、ご家族の希望を聞き、毎日の記録やケアチェック表から支援すべき課題を明確にしている。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録や職員間での情報交換などをもとに、カンファレンスを行い介護記録を作成している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて医師、看護師、薬剤師、福祉用具店などの協力を得ている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>幼稚園児が遊びにくる、また、外食に行くなど、施設内だけの生活だけではなく、外部との関わりを持つ事で精神的な安定を図っています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診の際には、ご家族様に電話等して確認後、受診している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護師へ心身の状態を報告し、情報の共有化を行い、健康管理を行なっている。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先へは、介護サマリー等の情報をお渡しして、本人が安心して治療できるように支援し、ご家族様と退院後の受け入れについて話し合いをしている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	協力医療機関より、医師、看護師や訪問看護師、ご家族様との話し合いを重ね、今後の方針を共有する体制がある。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年2回の避難訓練を行い、避難経路の確認などをおこなっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はプライドを尊重した言葉かけを行い、個人記録には氏名を明記などを行わないように職員全員に話しをしている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時間をかけての傾聴や毎日の生活から、本人の意思や希望を汲み取る努力をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課はあるが、本人のペースに合わせた暮らしを支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院など出来るだけ本人の希望にそって外部にて実施しています。また、出来るだけ入浴の際には時間をかけ、御利用者様と一緒に洋服を選ぶ等しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りや、祭り、デリバリーなど、本人が楽しんで食事が出来、また、積極的に片付けなどをやって頂けるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々に応じた食事、水分量を準備し、摂取量を記録しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行なっている。磨き残しなどがある場合は職員が手伝っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表などを活用し、個々の排泄パターンを把握し、出来るだけ本人に失敗が無く、トイレにて排泄が出来るように支援しています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便状況をチェック表で確認し、水分補給、薬の服用、腹部マッサージなどをし、出来るだけ自力排便が出来るように支援しています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>本人の希望やタイミングに合わせて入浴している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>介護記録にて個々の睡眠状況を把握し、安眠、休息への支援をしている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方箋は職員がいつでも確認できるようになっている。薬の管理、服薬の支援を行い、体調管理に努めている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々に合わせた役割活動を行なっている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ご本人、ご家族様の希望に合わせた外出を行なっている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理が難しい方へは支払いの際にお金を渡し、支払ってもらうなど個々に合わせた支援を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の了解を得て、友人等との電話やコミュニケーションを取っている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下、リビングには絵画や協力して作成した壁飾りを展示している。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファがあり、好きな時間にゆったり過ごす事ができる。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人の使い慣れたものを持参していただけるように、ご家族様にお話ししています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の基本動作を把握し、補助具の使用などで自立した生活を支援している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム アラナホーム
鴨志田

作成日 平成26年5月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や看取りについて、考え方を職員と話し合い、知識・意識の共有が必要。	職員との話し合いを実施し、職員の考え方を理解する。 職員間での目標を決める。	研修（社外、社内）や勉強会を行い、施設全体の意識や知識の向上を図る。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。